

Ⅱ 調査報告

イタリア：ミラノ市

1. コモ産業連盟



<コモ産業連盟>

<基本データ>

- ・コモ地区

コモ地区は、ミラノの北部、スイスとの国境に位置する湖水地域。絹織物、染色、アパレルの一大産地。人口は約8万人。

調査目的

コモ産業連盟の訪問では、コモ地区の産業構造や中小企業に対する支援策を聴取し、国際競争力の維持・強化に向けた各企業や業界の取組、支援状況を調査する。特に、世界的にブランド力を発信している企業が多いことから、製品ブランド力の強化につながる一連の取組を調査する。

調査結果

コモ産業連盟は、中小企業の保護と国際企業部門の育成、支援を目的として設立された。産業連盟の傘下には、約1,000の企業や組合が所属しており、そこで約50,000人が働いている。所属する80%の企業は従業員50名以下であり、100名を超える従業員を抱えている企業は約8%に過ぎない。

イタリアには産業連盟が10あり、そのうちの一つがコモ産業連盟である。産業連盟に所属する業種の内訳は29%が鉄鋼、28%が服飾・繊維、22%が第三次サービス産業、8%が化学・プラスチック、6%が木材・家具となっている。

産業連盟の主たる取組は、企業の国際化に向け、外国市場の開拓支援、進出の際の各種保護、情報提供サービスと



<コモ産業連盟役員から説明を受ける>

いった分野である。各中小企業に対しては一律の補助制度を適用するのではなく、それぞれの企業のニーズに合った情報提供や人材育成、問題解決の支援、外国への販路開拓など、きめ細かく行っている。更には、国、州や地方自治体、公共団体との連携にも力を入れて、ビジネス上で起きる様々な問題を政治的に

解決する支援も行っているとのことだ。

イタリアは日本との貿易¹も盛んで、貿易取引額も年々増加している。内容的には、ハードよりもソフトの面が多く、コモ地区の得意分野である商品の機能やデザインを重視したものが多い。また、合わせて機能診断をする人材の育成の分野にも力を入れており、その機会も増えてきているようだ。



<コモ産業連盟役員の方々>

¹ 2013年日伊貿易は、輸出：3,193億円。輸入：9,309億円。(出典：財務省／貿易統計)